



フィリピンのクリスマスや祭りをごみリサイクルの喚起の場へ

サステナブルレポート No.1

2025年3月27日
作成者:小西 武史

クリスマスパーティーの様子と工場 出典:(株)グーン



「サステナブルレポート」とは、環境やSDGsに関する社会課題を取り上げ、原因・背景から解決に向けた施策事例、未来像や展望までを調査しコンパクトにまとめた報告書です。廃棄物の再生に取り組む株式会社グーンでは、全従業員が本レポートの作成に取り組んでいます。



深刻な衛生環境のなか問題を抱えつつも前向きに生きる人々

■ ゴミの埋立で起こる環境低下と健康被害の負のスパイラル

- フィリピンにおいて、貧困・健康問題など様々な問題を抱えた人々が多い。生活上の問題が山積するなか、信仰するカトリック教を大きな心の拠り所として前向きな心持で生活を送っている。ごみのポイ捨てや埋立処分問題は益々深刻となり、衛生環境の低下も目立つ。結果、更なる健康被害につながり、悪循環を生んでいる。
- 社会保険料の経済的負担能力が低いこと、街を清潔に保つことが健康維持や環境改善の上で重要との認識は多くの人々にあるが、個人レベルでの実践の習慣がないこと、及びリサイクル産業が育っていないためゴミは埋立処分が一般的である。
- 医療面では、体調に異変があってもお金がかかるため病院へ行かず、適切な予防管理や診療を受けられない人が多い。そのためフィリピンの平均寿命は、アジアでは中低程度である。水源環境の悪化、埋立処分場での崖崩れ等が起きており、処分場自体も不足している。

■ パグパグ(残飯からの食料)を作る人たち



出典:NPO法人 DAREDEMO HEROのウェブサイトより

■ セブ市イナヤワン埋立処分場



出典:株)グーン 廃棄物調査資料

市民とのコミュニケーションと環境改善に資する雇用創出が必要

信仰心に根差したイベントに乗じ、人々のごみ問題への関心を喚起

■企業が率先し、エコ・ステーションやリサイクル工場を設置

- 技術を持つ海外リサイクル企業や地元リサイクル企業、NPO法人などの参入により、リサイクル工場を現地に建設、市民の雇用の場の創出に伴う所得レベルの向上及び衛生環境の改善へとつながり始めている。カトリック信仰の深いフィリピンでは、クリスマスイベントやシノログ祭りなどのイベントが国レベルで大々的に行われる。
- 市民全員参加であるクリスマスイベントやシノログ祭りの際クリーンアップ作戦やエコステーション(分別ごみ箱のデモ)を実施し市民とのごみ処理やリサイクルを通じたコミュニケーションを積極的に行っている。
- 現状ではまだまだ分別ゴミのリサイクルに関する市民の知識が不足し、理解が不十分である。リサイクル産業の発展とそこでの人材育成が、環境改善への大きな鍵となる。

■ セブ日本人会主催の盆踊り大会のエコステーション



出典：(株)グリーン撮影

■ セブのリサイクル工場



出典：(株)グリーン プレゼンテーション資料

企業はリサイクル事業推進とともに、市民への啓発を継続的に

リサイクルの浸透と工場増設でフィリピンを笑顔に満ちた循環型社会へ

■ 市民の自主的なゴミ分別やリサイクル工場運営で描く豊かな未来

- フィリピンでは、環境に配慮しないオープンダンプングにより埋め立て処分のコストが安くすむ。コストがより高いリサイクルはなかなか浸透しない。また、人々のごみ分別排出の啓発に関し積極的に活動しているリサイクル会社が少ない。
- 企業や自治体においてリサイクルのインフラ整備に必要な予算を確保できる環境が整うこと、また、リサイクルへの住民の理解が深まることやリサイクル企業が住民と環境改善やごみ処理問題に関し気軽にコミュニケーションをとれる場があることが理想である。
- 教会のミサの日などにリサイクルの啓発イベントやリサイクル品のバザー等を開催、また学校の体験分別排出の場を設けることで、多世代の環境教育につながる。
- リサイクル技術を持つ工場を開設し、市民の雇用創出に伴う所得レベルの向上及び衛生環境の改善を図る。雇用の創出、バイオマスエネルギーなどの産物で地域経済と環境を改善し、フィリピンが循環型社会へと向かう道しるべをつくりたい。

■ 教会でのリサイクル品バザーのイメージ



出典：(株)グーン作成

■ (株)グーン フィリピン支店の2024年クリスマス・パーティー



出典：(株)グーン撮影

目指すはリサイクルエネルギーを市民が利活用するカスケード利用型社会

■ 参照・引用資料

- 厚生労働省, 「平均寿命の国際比較」, 2024年12月9日閲覧
(<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/life21/dl/life21-04.pdf>)
- 外務省, 「フィリピン基礎データ」, 2024年12月9日閲覧
(<https://www.mofa.go.jp/mofaj/area/philippines/data.html#:~:text=%E5%9B%BD%E6%B0%91%E3%81%AE83%EF%BC%85%E3%81%8C,%E4%BA%BA%E5%8F%A3%E3%81%AE2%E5%89%B2%E4%BB%A5%E4%B8%8A%EF%BC%89%E3%80%82>)
- 大堀真貴子, 「フィリピン・マニラ首都圏のごみ処事情」, 2024年12月9日閲覧
(<https://www.dowa-ecoj.jp/kaigai/philippines/20221001.html>)
- フィリピン政府観光省, 「フィリピンの基礎知識」, 2024年12月9日閲覧 (<https://philippinetravel.jp/about/basic/>)

本レポートに関するお問い合わせはこちらへ

株式会社グーン

〒231-0023

神奈川県横浜市中区山下町2番地 10F

TEL: 045-228-8960

担当: ブルーエコノミー研究所 大木

<http://www.guun.co.jp/>



- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失 利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的所有権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。